

第四次佐久地域定住自立圏共生ビジョンに係る資料

第三次佐久地域定住自立圏共生ビジョンの計画期間（R 4（2022）年度～R 8（2026）年度）が終了します。

これまでの取組により、R 7 年の目標人口としていた 230, 200 人に対し、R 5 社人研公表による R 7 推計値で 229, 039 人（R 7 国勢調査の速報値で 229, 757 人）と一定の成果が得られています。

1 定住自立圏の名称：佐久地域定住自立圏

2 構成市町村：

佐久市、小諸市、東御市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町（12 市町村。第三次ビジョンからの変更なし。）

3 ビジョンの目的：

定住自立圏として目指すべき地域の将来像や、各市町村と締結した「定住自立圏形成協定」に基づいて実施される具体的な事項等を明らかにし、佐久地域定住自立圏の全体像を示すため、中心市である佐久市が「佐久地域定住自立圏共生ビジョン」を策定します。

4 計画期間：令和 9 年度から令和 13 年度までの 5 年間

5 地域の将来像：将来にわたり安心して暮らすことができる佐久地域

（地域の医療や交通を始めとする必要な生活機能の確保に取り組むことにより、様々なライフスタイルを選択することができ、交流や賑わいのある活気あふれる佐久地域を目指します。）

6 中長期的な人口目標：

各市町村の人口ビジョンに基づき、圏域の将来人口を以下のとおり目指します。

- ・圏域人口目標：229, 039 人（R7（2025））⇒217, 300 人（R22（2040））
- ・生産年齢人口：126, 297 人（R7（2025））⇒109, 200 人（R22（2040））

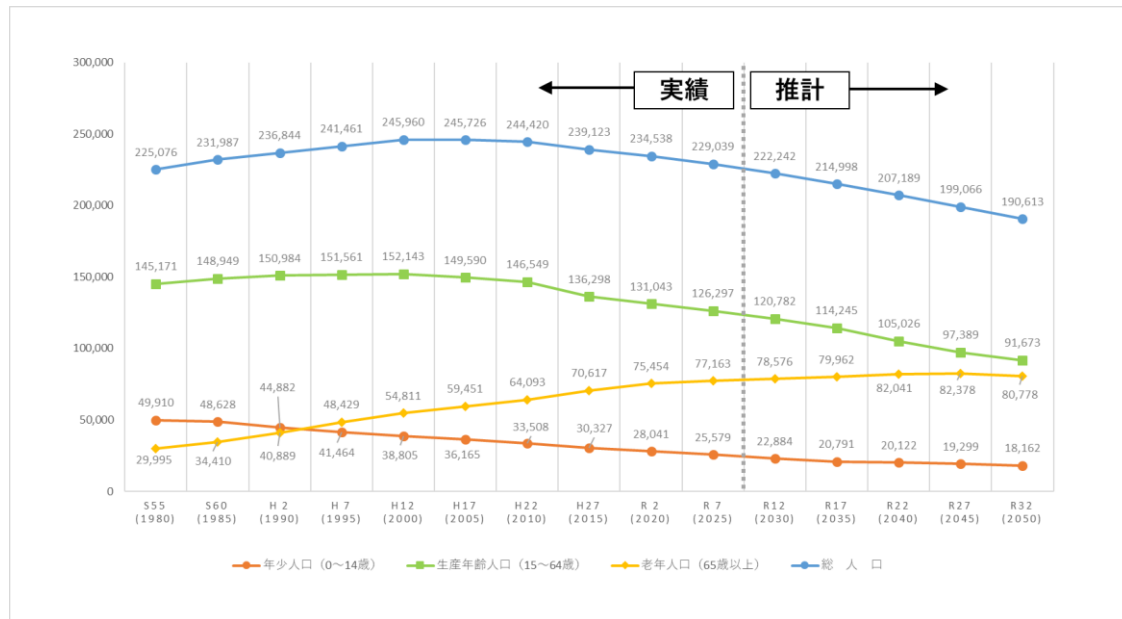
7 具体的取組事項：

中心市と各市町村との間で締結した「定住自立圏形成協定」に基づき、構成市町村が相互に協力・連携して、「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」、「圏域マネジメント能力の強化」に取り組みます。

【 補足 1：圏域人口について 】※第四次時点

圏域における人口は、H12（2000）をピークとして減少に転じており、R2（2020）の人口は、23万5千人程度となっています。社人研推計によると、R22（2040）には20万7千人程度になると推計され、本圏域でも人口減少・少子高齢化の進行が見込まれます。

表 圏域人口の推移（年齢階層（3区分）別人口）



出典：S55（1980）～R7（2025）は国勢調査（総務省統計局）

R12（2030）～R32（2050）は社人研推計（R5（2023）推計）

【 補足 2：取組事項について 】

構成市町村は、連携・協力し、以下の12分野21項目に取り組めます。

（1）生活機能の強化

- ア 保健・医療（地域医療の環境整備、住民の健康増進、自殺対策）
- イ 福祉（病児・病後児保育の広域化、発達障がい児の支援体制の確立）
- ウ 学校教育（不登校児童生徒等の支援体制の充実、ICT教育の推進）
- エ 産業振興（鳥獣害防止総合対策、地産地消・販路開拓の推進、六次産業化による農業振興、農業情報ネットワークの構築、森林病虫害被害防止対策、広域的観光の推進）
- オ 環境（循環型社会の構築）
- カ 防災（広域防災体制の整備と強化）

（2）結びつきやネットワークの強化

- ア 地域公共交通（地域公共交通ネットワークの構築）
- イ 建設（道路等交通インフラの整備）
- ウ 情報（情報化の推進）
- エ 定住促進・交流推進（定住促進及び交流推進）
- オ 社会教育（社会教育施設の広域的活用）

(3) 圏域マネジメント能力の強化

ア 人材育成（合同専門研修及び人事交流）

【 第四次ビジョン策定に係る見直しのポイント 】

第四次ビジョンの策定に当たって、各推進部会における検討の結果、第三次ビジョンから変更となった点は、以下のとおりです。

	ページ	変更点等
第1章	P1	・表記修正
第2章	P2	・表記修正 ・計画期間を、次の5年間に更新しました。
第3章-1	P3	・18歳までの医療費無料化に係る記述については、一般的となったため削除し、令和8年4月に開所した「こども・子育て支援拠点施設」に係る内容を追記しました。
-2 (1) (2)	P4 P5	・時点修正（R7数値は一旦R5公表の社人研数値による。） ・緑字：R7国勢調査関係の数値は、確定値（R8.9公表予定）を基に、時点修正を行う予定です。速報値時点では総人口しか判明しないため、年齢別とデータの整合がとれないことから、確定値が公表された後に、修正を行います。
	P6	・変更なし
-3	P7 P8	・時点修正（R7数値は一旦R5公表の社人研数値による。） ・緑字：R7国勢調査関係の数値は、確定値（R8.9公表予定）を基に、時点修正を行う予定です。速報値時点では総人口しか判明しないため、年齢別とデータの整合がとれないことから、確定値が公表された後に、修正を行います。 ・R12の推計値を目標値として目出ししました。
-4 (1)	P8	・緑字：佐久市人口・比率は、R7国勢調査速報値を基に一旦記載しています。確定後に時点修正します。
	P9 P10	・時点修正予定 ・緑字：観光地利用者統計調査はR8.8公表予定
	P11	・変更なし
第4章	P12 P13	・変更なし
第5章	P14 P15	・変更なし
-1	P16～ P45	・KPIの目標数値を更新しました。 ・取組事業の事業費（計画額）を更新しました。 ・P24・26（3）学校教育 ア 不登校児童生徒等の支援体制の充実 イ ICT教育の推進 のKPIを改めました。
-2	P46～ P55	・KPIの目標数値を更新しました。 ・取組事業の事業費（計画額）を更新しました。
	P42 P43 P47	・事業番号21の事業概要の表記を改めました。 ・事業番号22の実施主体に佐久穂町を追加し、成果の表記を改めました。 ・事業番号27の事業概要の表記を改めました。
-3	P56	・KPIの現状数値を更新しました。 ・取組事業の事業費（計画額）を更新しました。

(別表) **第四次** 共生ビジョン K P I の設定に関して

施策分野	取組分野	指標名	現状値 (R7)	目標値 (R13)	備考
1 生活機能の強化					
保健・医療	地域医療の環境整備	佐久地域休日小児科急病診療センター登録医師数	<u>14 人</u> (令和 7 年度)	<u>14 人</u> (令和 13 年度)	現状維持を目指します
	住民の健康増進	特定健康診査受診率	<u>51.0%</u> (令和 6 年度)	<u>60.0%</u> (令和 13 年度)	国の目標値を目指します
	自殺対策	ゲートキーパー養成研修会受講者数 (累計)	<u>初級：1,218 人</u> <u>中級：876 人</u> (平成 24 年度～ 令和 7 年度)	<u>初級：1,700 人</u> <u>中級：1,250 人</u> (平成 24 年度～令 和 13 年度)	現状値の 1.4 倍増を目指します
福祉	病児・病後児保育の広域化	病児・病後児保育の延利用児童数	<u>病児：延べ 235 人</u> <u>病後児：延べ 1 人</u> (令和 7 年度)	<u>病児：延べ 300 人</u> <u>病後児：延べ 12 人</u> (令和 13 年度)	病児保育については目標を継続。病後保育については月当たり 1 人の利用を想定
	発達障がい児の支援体制の確立	スキルアップ研修会受講者数	<u>76 人</u> (令和 7 年度)	<u>56 人</u> (令和 13 年度)	直近 3 か年実績に基づく現状維持を目指します
学校教育	不登校児童生徒等の支援体制の充実	<u>学校内外の機関や、教職員から継続的な相談・指導を受けた状況</u>	<u>87.5%</u> (令和 7 年度)	<u>98%</u> (令和 13 年度)	現状値の改善を目指します
	I C T 教育の推進	<u>児童生徒の情報活用能力</u>	<u>小学校 75.18%</u> <u>中学校 74.86%</u> (令和 7 年度)	<u>小学校 80%</u> <u>中学校 80%</u> (令和 13 年度)	現状値の改善を目指します
産業振興	鳥獣害防止総合対策	野生鳥獣による農林業被害額	<u>82,987 千円</u> (令和 7 年度)	<u>82,000 千円</u> (令和 13 年度)	現状維持を目指します
	地産地消・販路開拓の推進	直売所（公設等）における売上額	<u>2,486,032 千円</u> (令和 7 年度)	<u>2,700,000 千円</u> (令和 13 年度)	各施設の過去最高売上額の合計を目指します
産業振興	六次産業化による農業振興	酒米生産農業者数	<u>35 人</u> (令和 7 年度)	<u>39 人</u> (令和 13 年度)	過去 5 年間の増加割合を踏まえ、生産者数の 10%増を目指します

	農業情報ネットワークの構築	認定農業者数	<u>1,630 人</u> (令和 7 年度)	<u>1,600 人</u> (令和 13 年度)	現状維持を目指します
	森林病虫害被害防止対策	松くい虫被害木伐倒・くん蒸処理量	<u>1,652 m³</u> (令和 7 年度)	<u>1,632 m³</u> (令和 13 年度)	現状維持を目指します
	広域的観光の推進	観光地延利用者数	<u>延べ 16,568,400 人</u> (令和 6 年度)	<u>延べ 16,568,400 人</u> (令和 13 年度)	現状維持を目指します
環境	循環型社会の構築	新エネルギー設備導入容量	<u>459MW</u> (令和 7 年度)	<u>520MW</u> (令和 13 年度)	現状値の 1.1 倍増を目指します
防災	広域防災体制の整備と強化	緊急連絡対応訓練実施回数	<u>年 1 回</u> (令和 7 年度)	<u>年 2 回</u> (令和 13 年度)	現状値の倍増を目指します
2 結びつきやネットワークの強化					
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	公共交通延利用者数	<u>延べ 614,054 人</u> (令和 7 年度)	<u>延べ 641,000 人</u> (令和 13 年度)	現状値の 1.04 倍増を目指します
建設	道路等交通インフラの整備	中部横断自動車道 八千穂高原インターチェンジから(仮称)長坂ジャンクション間の整備計画路線への早期格上げ要望活動の開催回数	<u>年 5 回</u> (令和 7 年度)	<u>年 5 回</u> (令和 13 年度)	現状維持を目指します
情報	情報化の推進	行政のデジタル化に係る勉強会の実施	<u>年 1 回</u> (令和 7 年度)	<u>年 1 回</u> (令和 13 年度)	年 1 回以上の開催を目指します
定住促進・交流推進	定住促進及び交流推進	移住サポート利用者数(累計)	<u>2,176 人</u> (令和 7 年度)	<u>12,000 人</u> (令和 9 年度～令和 13 年度)	現状値の 5.5 倍増を目指します
社会教育	社会教育施設の広域的活用	イベント、スポーツ大会等の共同開催回数(累計)	<u>7 回</u> (令和 3 年度～令和 7 年度)	<u>15 回</u> (令和 9 年度～令和 13 年度)	年 3 回以上の開催を目指します
3 圏域マネジメント能力の強化					
人材育成	合同専門研修及び人事交流	職員合同研修会受講者数	<u>48 人／年間</u> (令和 7 年度)	<u>60 人／年間</u> (令和 13 年度)	現状値の 1.3 倍増を目指します

参考（第三次）

（別表）K P I の設定に関して

施策分野	取組分野	指標名	現状値 (R2)	目標値 (R8)	備考
1 生活機能の強化					
保健・医療	地域医療の環境整備	佐久地域休日小児科急病センター登録医師数	<u>14 人</u>	<u>14 人</u>	現状維持を目指します
	住民の健康増進	特定健康診査受診率	<u>50.2%</u> (R 元年度)	<u>60.0%</u> (R 8 年度)	国の目標値を目指します
	自殺対策	ゲートキーパー養成研修会受講者数（累計）	<u>初級 802 人</u> <u>中級 546 人</u> (H24～R2)	<u>初級 1,200 人</u> <u>中級 840 人</u> (H24～R8)	現状値の 1.5 倍増を目指します
福祉	病児・病後児保育の広域化	病児・病後児保育の延利用児童数	<u>病児 延べ 69 人</u> <u>病後児 延べ 0 人</u>	<u>病児 延べ 300 人</u> <u>病後児 延べ 24 人</u>	コロナ禍を考慮し、前回目標を継続
	発達障がい児の支援体制の確立	スキルアップ研修会受講者数	<u>20 人</u>	<u>70 人</u>	現状値の 3.5 倍増を目指します
学校教育	不登校児童生徒等の支援体制の充実	<u>不登校児童生徒在籍率（小・中学校）</u>	<u>2.01%</u>	<u>1.08%以下</u>	県の目標値を目指します
	I C T 教育の推進	<u>I C T 教育年間授業時間数</u>	<u>小 4,602 時間</u> <u>中 4,790 時間</u>	<u>小 10,665 時間</u> <u>中 8,235 時間</u>	現状値の倍増を目指します
産業振興	鳥獣害防止総合対策	野生鳥獣による農林業被害額	<u>78,957 千円</u>	<u>74,300 千円</u>	現状の 1 割程度の減を目指します
	地産地消・販路開拓の推進	直売所（公設等）における売上額	<u>1,527,289 千円</u>	<u>1,700,000 千円</u>	各施設の過去最高売上額の合計を目指します
産業振興	六次産業化による農業振興	酒米生産農業者数	<u>31 人</u>	<u>35 人</u>	コロナ禍を考慮し、現状の 1 割程度の増を目指します

	農業情報ネットワークの構築	認定農業者数	<u>1,904 人</u>	<u>1,910 人</u>	現状維持を目指します
	森林病虫害被害防止対策	松くい虫被害枯損木処理量	<u>2,825 m³</u>	<u>3,500 m³</u>	現状値の 1.25 倍増を目指します
	広域的観光の推進	観光地延利用者数	<u>延べ 17,084,800 人</u> <u>(R 元年度)</u>	<u>延べ 18,961,478 人</u> <u>(R 8 年度)</u>	コロナ禍を考慮しつつ、実績増を目指します
環境	循環型社会の構築	新エネルギー設備導入量	<u>323MW</u>	<u>438MW</u>	現状値の 1.3 倍増を目指します
防災	広域防災体制の整備と強化	緊急連絡対応訓練の実施	<u>年 1 回</u>	<u>年 2 回</u>	現状値の倍増を目指します
2 結びつきやネットワークの強化					
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	公共交通延利用者数	<u>延べ 394,318 人</u>	<u>延べ 479,000 人</u>	現状値の 1.2 倍増を目指します
建設	道路等交通インフラの整備	中部横断自動車道 八千穂高原インターチェンジから(仮称)長坂ジャンクション間の整備計画路線への早期格上げ要望活動の開催回数(累計)	<u>3 回</u> <u>(R 2 年度)</u>	<u>15 回</u> <u>(R 4 ~ R 8 年度)</u>	現状値の 5 倍増を目指します
情報	情報化の推進	システム標準化に係る研究会の実施	<u>＝</u>	<u>2 回</u>	年 2 回以上の開催を目指します
定住促進・交流推進	定住促進及び交流推進	移住サポート利用者数	<u>150 人</u> <u>(R 2 年度)</u>	<u>6,600 人</u> <u>(R 4 ~ R 8 年度)</u>	現状値の 44 倍増を目指します
社会教育	社会教育施設の広域的活用	イベント、スポーツ大会等の共同開催回数(累計)	<u>4 回</u> <u>(H29 ~ R 2 年度)</u>	<u>15 回</u> <u>(R 4 ~ R 8 年度)</u>	年 3 回以上の開催を目指します
3 圏域マネジメント能力の強化					
人材育成	合同専門研修及び人事交流	職員合同研修会受講者数	<u>59 人/年間</u>	<u>60 人/年間</u>	コロナ禍を考慮し、現状維持を目指します